

口頭③

病院薬局間の栄養連携 ～低栄養への新たな取り組み～

尾久ミキ薬局
○鈴木 智美

【目的】

尾久店では、腎疾患患者に対する食事療法、減塩指導、カロリー摂取制限と、主に生活習慣病に直結する栄養過多に対する指導・商品販売を行ってきた。一方で、低栄養に対する取り組みが十分に行えていない現状がある。そこで、東京女子医科大学東医療センターとの栄養連携を基に、低栄養サポートが可能な商品を選定し、店舗スタッフに商品を知ってもらい、患者様により良いアドバイスができる事を目的とした。

【方法】

- ① 女子医科大学東医療センター管理栄養士へ低栄養患者様に対する指導実施状況の聞き取り
- ② ミキ薬局管理栄養士に相談し、商品を選定
- ③ 店舗スタッフによる試飲会・アンケート集計
- ④ 販売商品の選定
- ⑤ メイバランスの試飲会（9/12～9/14、各日午前・午後1時間ずつ）

【結果】

患者様 104 人に声掛け、実際試飲してくれた人は 51 人、数件購入に繋がった。
化学療法で食欲不振になっている、大腸・胃切除等で食事量が取れない等、食事だけでは十分な栄養が取れていない方が多く来局していることがわかった。
カロリー制限や食事制限を主治医から受けている方にはカロリー制限の商品、低栄養の方にはメイバランス、それぞれのニーズに合わせたサポートができた。

【考察】

かかりつけ薬局・薬剤師として信頼を得るためには、薬についてのことはもちろん、それ以外の面からのサポートも重要であると考えます。
今回の取り組みを通じ、患者様個々のニーズに合わせた栄養・食事についてのアドバイスの重要性や難しさを感じました。
今後も継続して栄養指導を含めたより密着した服薬サポートを目指していきたい。
また、継続して病院との情報交換会を行い、共有した情報を薬局内での栄養指導に活かしていきたいと考えています。